

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

トランスヒューマンの登場と調和重視経済

ジャック・アタリ (1943 年生まれ、わずか 38 歳でフランスのミッテラン政権の大統領特別補佐官を務め注目を浴びる。現在、政界・経済界で重責を担う一方で、経済学者・思想家・作家として幅広く活躍)

1. 現在、我々は信念に基づいた行動を我々の未来のためにあえて起こす必要がある。人類は自滅を余儀なくされるのではないことを、改めて示していかなければならない。すなわち、人類は、市場、科学、戦争、そして特におろかさや悪意によって自滅するのではないことを示していく必要がある。人類を悪魔から救済するためには、未来の第一波および第二波が、それぞれのやり方で人類に終止符を打つ前に、未来の第三波 (超民族主義) が押し寄せてこなければならぬ。その行く末は現在の我々にかかっている。超民族主義は数十年後には現実となっているだろう。
2. 超民族主義の実現に向けて最前線で活動する人々のことを、筆者は「トランスヒューマン」と呼ぶが、彼らはすでに収益性にとらわれない、そして収益が最終目的ではない「調和重視企業」で活躍している。トランスヒューマンとは、愛他主義者であり、世界市民である。彼らの活動により、地球規模の制度・機構が誕生し、産業は軌道修正されていく。こうした産業は、各人のゆとりある暮らしのために必要となる財 (もっと重要なのは心地よい時間) や、人類全員にとってゆとりある暮らしのために必要となる共通資本 (共同体のインテリジェンス「知性・情報」が重要な要素となる) を発展させていく。
3. 市場と民主主義、そして公共サービスと民間企業との新たな世界的なバランスさえも超えて、トランスヒューマンは新たな豊かさの秩序を誕生させる。調和重視経済は、次第に市場を隅に追いやっていく。

(参考: ジャック・アタリ著「21 世紀の歴史」: 作品社)

ワンポイント経営アドバイス

店長への大幅な権限移譲

1. 消費不振で業界全体が低迷にあえぐ中、成長を続ける外食チェーンがある。中華料理店「餃子の王将」(本社京都市) だ。20 カ月連続で、前年を上回る売上高を更新中で、この 3 月の売上高は前年同月比 14.2% 増と 1967 年の創業以来、過去最高の伸び率となった。好調の理由は、店舗ごとに違うこだわりメニューにある。各店舗には、それぞれ独自に考案したメニューが並ぶ。40 品目ものオリジナルメニューをそろえる店舗もある。
2. 「店は個性を売らなあかん」王将の大東隆行社長は、店舗の独自性を強調する。そのためメニューの考案や価格設定、バイトの時給や広告のチラシを出す回数、営業時間の設定まで店長に権限移譲している。店舗へのしぼりも少ない。本部が店舗に課している指標は、人件費率 (売上高に対して 21%) と利益率 (売上高に対する粗利益率が 60.5% 以上) だけだ。

(参考: 「週刊東洋経済」: 2009 年 5 月 16 日号)

人事・労務について

社員の士気を高める工夫

1. 新潟県燕市。洋食器で有名なこの地に、大企業の技術者が日参する中小企業がある。金属の板金加工を中心とした製品作りで高い技術を持つワタナベだ。彼らのお目当ては、ワタナベが持つ「異素材溶接」技術だ。また、成長過程にあってもコスト削減には手を抜かなかった。例えば、工程管理の緻密さだ。各個人がどの工程で何分の時間がかかっているかを計画し、データ化する。遅れが出ればその原因を突き止める。
2. 社員の士気を高める工夫も怠らない。各部門において、部門長が部下に対して「やってほしいこと」を細かく記述し、クリアできればそれぞれの難易度に合わせて点数を付与する。その合計点で賞与が決まる仕組みだ。直属の上司が明確な目標を設定し、減点法でなく加点法で評価すれば、若い社員でもおのずと歩き出す。そして、いずれは自分で目標を考える自立した社員になる。

(参考: 「日経ビジネス」2009 年 5 月 25 日号)

古典に学ぶ

成形の功德

「すべて物事というものは、形を成さないことには、十分にその効果が現れないということです。同時にまた、仮に一応なりとも形をまとめておけば、もしそれがどんなにつまらぬと思われるようなものでも、それ相応の効用はあるものだという事です」

(参考: 森信三「修身教授録抄」: 致知出版社)